

2019年4月1日

【入社式挨拶】

新入社員の皆さん、入社おめでとうございます。

本日、ここに総合職 14 名、事務職 5 名、計 19 名の皆さんが正式に入社されることになりました。筆記試験受験者 総数 1,126 名、59 倍率という厳しい入社試験を経て、本日の入社式を迎えられた事をあらためて当社を代表して心から歓迎致します。

当社は、2010 年度から「9 期連続増益」「内 6 期連続最高益」を達成致しました。この勢いで本日から始まる 2019 年度の「10 期連続増益」という大記録に向け、全社一丸となりチャレンジしていくので、新入社員 19 名の皆さんもその一員として、一緒に頑張っていきましょう。

当社は、若手社員、及び女性社員も思い切り活躍できる機会・場面が年々増えてきています。たとえば、海外駐在員 総計 50 名の内、女性駐在員は 5 名であり、また入社 5 年目までの若手駐在員は既に 10 名以上となり、海外各地で日夜活躍しています。また、社員総数の 1/3 以上が入社 10 年目までの若手・中堅社員で占めています。皆さんの活躍にも大いに期待しています。

経営環境として、2018 年度前半までは、世界的に比較的安定した経済環境でしたが、その後は先行き不透明な環境と言えます。中国成長経済の減速、米中貿易摩擦問題、また英国の EU 離脱問題など、政治的要因も含め世界的規模での「不透明」な環境が現実です。但し、そのような環境でも成長・拡大している業界・市場・客先は存在しており、それら成長・拡大業界を見れば「物流を制する重要性」は益々高まっています。

当社は、その「物流」を核として、「商物一体」「M&A 含む事業化推進」「投資・出資によるグループ化推進」など、物流機能に加えたマルチ機能集団を目指して来ており、商社系物流企業の強みをより一層発揮すべきと確信しています。

このように世界経済は、刻々と変化しており、物の流れも変化しています。固定概念は禁物であり、「現場情報」の重要性は増しており、その情報を的確に分析・判断する柔軟な経営感覚がさらに求められる時代に突入しています。「9 期連続増益」という偉業も社員の日々の努力・実績の積み重ねの賜物であり、一夜で出来た結果ではありません。皆さんには、その文化・DNA を取り込み、学んで頂き「日々の努力・実績」を心掛け、「現場主義」「各論・具体論」の重要性を頭に入れておいて下さい。

最後になりますが、本日より皆さんと一緒に、同じ目的に向かって頑張っていける事を心から喜び、また楽しみにしています。本日は、誠におめでとうございます。

伊藤忠ロジスティクス (株)
代表取締役社長 佐々 和秀



(2019年度 入社式)



(佐々社長 挨拶)